

文部科学省認定プログラム  
大垣女子短期大学 幼児教育学科 子どもの発達と援助学コース  
令和8年度特別公開講座のお知らせ（ご案内）



Brush up Program  
for professional

大垣女子短期大学幼児教育学科では、平成29年度から地域の療育・保育に携わる現職者を対象に、文部科学省認定「職業実践力育成プログラム（BP）」子どもの発達と援助学コースを開講しております。これまでに約300名が受講を修了され、本学が認定する「認定療育士」として、それぞれの現場でご活躍いただいております。

さて、今年度も、その講座の一部を、地域の教育・保育・療育・福祉等に携わる方々に聴講いただける機会として、下記のとおり、特別公開講座を計画しました。2002年の障害者基本計画において、「共生社会」が目指すべき社会として明確に位置付けられ二十数年が経ちました。「共生社会」とは、「一人ひとりの良さや違いを認め合い、ともに生きる社会」です。そこで、今年度は『**再考 一人ひとりの良さの捉えと活かし方を考える**』をテーマに、一人ひとりの“良さ”を改めて考える機会にしたいと考えました。また昨年度まで、各半日で2回開催しておりましたが、今年度から終日一日開催とし、第一部を二つの講演、第二部を日頃の実践や悩み等を自由に交流できる参加型の会にしたいと思います。

つきましては、多くの方にご聴講していただきますようご案内申し上げます。

記

○日 時 平成8年11月29日（日） 9：00～16：00

○内 容

【第一部】 9：00～12：00

○講演1 神山 忠氏（発達障害実践者） 9：00～10：20

演題：「ちがいは、きっと「いいところ」

～子どもの「困った」を「その子らしさ」と考えて～



長年にわたり、発達障害のある子どもたちやご家族の支援に取り組んでおられ、特に、学習障害（LD）の当事者として、ご自身の経験に基づく講演は、いつも大変好評で、全国各地を飛び回っていらっしゃるお忙しい先生です。今回は、一人ひとりの良さの捉えや障がいのある人の生き方、社会の仕組み等、それらを踏まえた自身の経験等についてお話いただきます。

○講演2 井川 典克氏（いかわクリニック 院長） 10：40～12：00

演題：本人の特性の理解と誰が困るのか



非常に多くの知識や経験から、発達障害のある子どもたちやご家族に寄り添いながら、医療だけでなく、教育や福祉など、子どもたちを支えるさまざまな人たちとのつながりを大切に地域での支援に取り組んでおられる先生です。医療の立場から、障がいのある方が自分の良さや弱さ（苦手さ）とどのように向き合い人生を歩んでいくとよいか、私たちがどのように理解し、どのように関わっていけばよいのか等お話いただきます。

【第二部】 13:00～16:00

○座談会 「一人ひとりの良さについて語る」 13:00～14:00

井川 典克氏（いかわクリニック 院長）

中野たみ子氏（本学客員教授）

本学教員

○分科会 14:20～15:50

分科会1 「家庭療育の視点から、一人ひとりの“良さ”を育てるには」  
ファシリテーター：中野たみ子氏（本学客員教授）

一人ひとりの良さとは何か？保護者の捉えと療育者の捉えが異なることが時としてあります。家庭との連携の中で、一人ひとりを見つめた良さの捉え方等について意見交換します。

分科会2 「保育・教育の視点から、一人ひとりの“良さ”を育てるには」  
ファシリテーター：松原勝己（本学教員）

一人ひとりの良さをどのように捉え、その良さを活かした活動作り、集団での活動の在り方等について意見交換します。

分科会3 「社会や環境の視点から、一人ひとりの“良さ”を育てるには」  
ファシリテーター：垣添忠厚（本学教員）

一人ひとりの良さが活かせる社会とは？「もっとこうなると一人ひとりの良さが活かせる」等、これからの保育・教育の在り方、社会の在り方について語り合います。

○会場等

【会場】大垣女子短期大学（大垣市西之川町1-109） 多目的ホール（C号館3階）

【受付】8:30～

○聴講料（当日払い）

【認定療育士】 2,000円

【一般（医療・教育・福祉等に関わる方）】 3,000円

※QRコード決裁のみとなります。会場でお支払いいただきます。

○申し込みについて

・QRコードから申し込みフォームにアクセスいただきお申込みください。



申込フォーム

○その他

・昼食は、各自でご用意ください。

・お車でお越しの方は、本学北側等の駐車場をご利用ください。

（駐車場に限りがありますので公共交通機関のご利用をお願いいたします）

【担当】 幼児教育学科 松原・垣添（代表：0584-81-6811）